

なりきるって楽しい！！

対象児：1歳児 ばら組

作成日：2026年2月16日

作成者：小野みもな

【保育のねらい】身体表現を通して、表現することへの意欲や関心を育む。



保育の振り返り

（表現遊び：ぞうさんの帽子・山の音楽家

楽器遊び：ゆきだるまのチャチャチャ）

音楽に合わせた絵本やシアターを多く楽しむ中で、保育者の振り付けを真似して手を動かしたり身体を使って踊ったりと、音楽を使っての表現遊びを楽しんでいる姿が増えてきました。そのような様子から発表会の演目は、日々子どもたちが、関心をもっている手遊びやシアターの中から選びました。さらに、当日までの日々は、繋がりのある保育を意識しながら導入をおこなってきました。子どもたちがワクワクした気持ちで表現遊びを楽しむことができるように、役を決める際は、子どもたちになりたい動物を選んでもらいました。自分でやりたい動物を選んだことから子どもたちの興味も深まったようで、意欲的に参加する姿や、なりきって楽しむ姿が見られました。また、子どもたちの顔写真のシアターを使用して、一緒に歌ったり踊ったりしながら子どもたちが視覚的に自分の役を覚えることができるように関わってきたり、ぞうさんの帽子で使用する大きな帽子は、物語を楽しみながら自分たちで大きな帽子を探しに行き、色を付け、共同製作をしたりと、丁寧な導入の下、子どもたちの気持ちを高められるように進めていきました。まだ、1歳児という時期ではありますが、そんな中でも、しっかりと自分の意思を表現する力が育っている時期でもあります。保育者が進めていく保育ではなく、物語を子どもたちと一緒に楽しみながら、子どもたちの意見を聞いたり一緒に発表会にまつわる製作をおこなったりしながら、子どもたちと共に進めていくことで、子どもたちの興味が一層深まったように思います。発表会までの日々を通して子どもたちは、様々なことをみんなで共有しながら、他者と一緒に取り組むことへの楽しさや喜びを感じられる大きな機会になったと同時に、自分の思いの表現や、音楽などの素材を使用しての身体を使った表現、様々な表現方法を通して、自分自身を表現することを経験できたと思います。自分の思いを表現し、思いを認めてもらえたという経験を繰り返しながら、表現することへの楽しさを感じられるように、これからも丁寧に関わっていきたいです。（言葉による伝え合い・協同性・豊かな感性と表現）